

侵入・拡大防止

STOP! 雑草イネ

撲滅にご協力ください!



©栃木県 とちまるくん

雑草イネが混じると...

品質が著しく低下し甚大な損害につながります

雑草イネとは、一般の栽培イネと異なり、収穫物への赤米混入被害をもたらす水田の強害雑草です。雑草イネを見つけたら被害が拡大しないように、抜き取り・防除を徹底しましょう!

雑草イネの3つの特徴

① 脱粒しやすい(最大の特徴!)

- 風などで籾が落ちる
- 手で握るだけでほとんどの籾が落ちる

※脱粒しないイネは、通常の異株(雑穂)ですので混同しないようご注意ください。



風で籾が落ちる
握ると籾が落ちる

② 穂の姿・稈長などが一般のイネと異なる

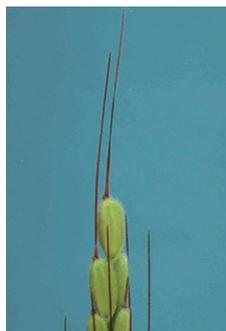
- ふ先が赤い※
- 芒が長い
- 周りのイネよりも稈長が長い など

※県内で発生する雑草イネの多くは、この「ふ先が赤い」という特徴をもっています。糯品種と穂の様子が似ていますが、出穂期が異なる・稈長が長い・脱粒しやすい等で判断することができます。

③ 籾が褐変したり、玄米が着色(赤～紅色)



ふ先が赤い



芒が長い



稈長が長い



雑草イネ

コシヒカリ

参考及び引用:「雑草イネまん延防止マニュアルver.2」中央農業総合研究センター

雑草イネの防除対策

● 雑草イネを見つけたら **徹底的に抜き取る!**

発見したら株ごと抜きます。雑草イネは出穂後2週間で脱粒が始まるので、できるだけ早く抜きましょう。また、遅れ穂もあるので何回か時期をずらして抜き取ります。抜いた株は早急にほ場外に持ち出し、可能であれば焼却処分しましょう。

● 発生したほ場の **機械作業は最後** に行い、**機械を良く洗って** 機械による拡散をさせない!

● 発生したほ場は、**秋耕せずに** 雑草イネの籾を鳥に食べさせ、さらに **冬の寒さにさらして死滅** させる!

また、大豆などの畑作物に転換ができる場合は、2年以上の期間水田にしないことで、そのほ場の雑草イネの再発を大きく軽減することができます。

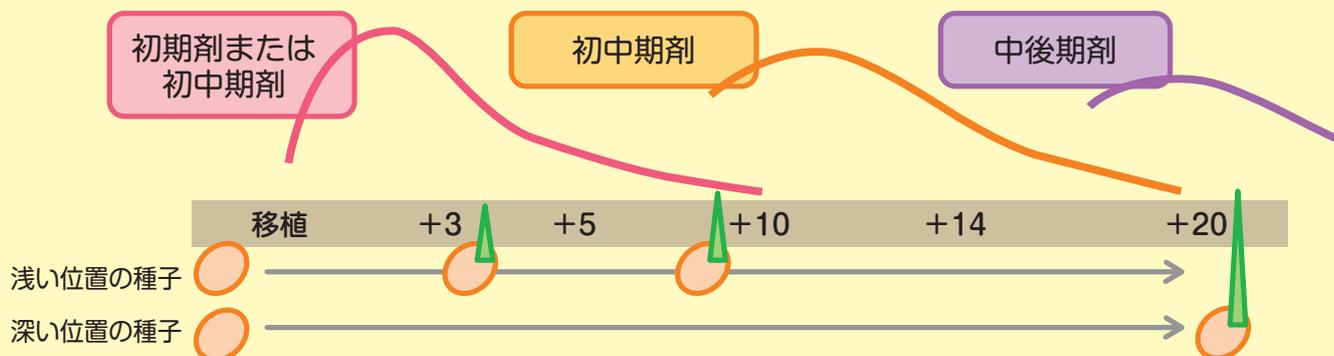
● 自家採種のイネに混じっている事例があったので、**必ず購入種子** を使う!

● 玄米に雑草イネが混じったら **色彩選別機でぬく!**

● 次年度は **効果的な除草剤** を体系的に使う!

体系防除のイメージ

移植後20日までは常に除草剤の防除下におく



参考および引用：「雑草イネ総合防除対策マニュアル」長野県農業試験場

※発生を確認したら、早めに徹底して抜き取るとともに、**JA**または最寄りの農業振興事務所にご連絡ください。

